
登別市こどもの生活に関するアンケート
(16歳以上こども用)
報告書

令和6年10月

登別市

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市内在住で満16歳～18歳の皆様の生活状況や将来への思いに対するご要望・ご意見、ニーズについて把握し、令和6年度に策定することも計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査地域

登別市内

3. 調査対象者

登別市在住のすべての満16～18歳の子ども

4. 調査方法

郵送発送、郵送回収及びWEB回答による無記名回答方式

5. 調査期間

令和6年8月～9月

6. 配布件数・回収状況等

調査種類	配布枚数	回答数	有効回答率
16歳以上子ども用 アンケート	1,136	298	26.2%

7. 集計上の留意点

①グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数(保護者の回答者数)を示しています。

②複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。

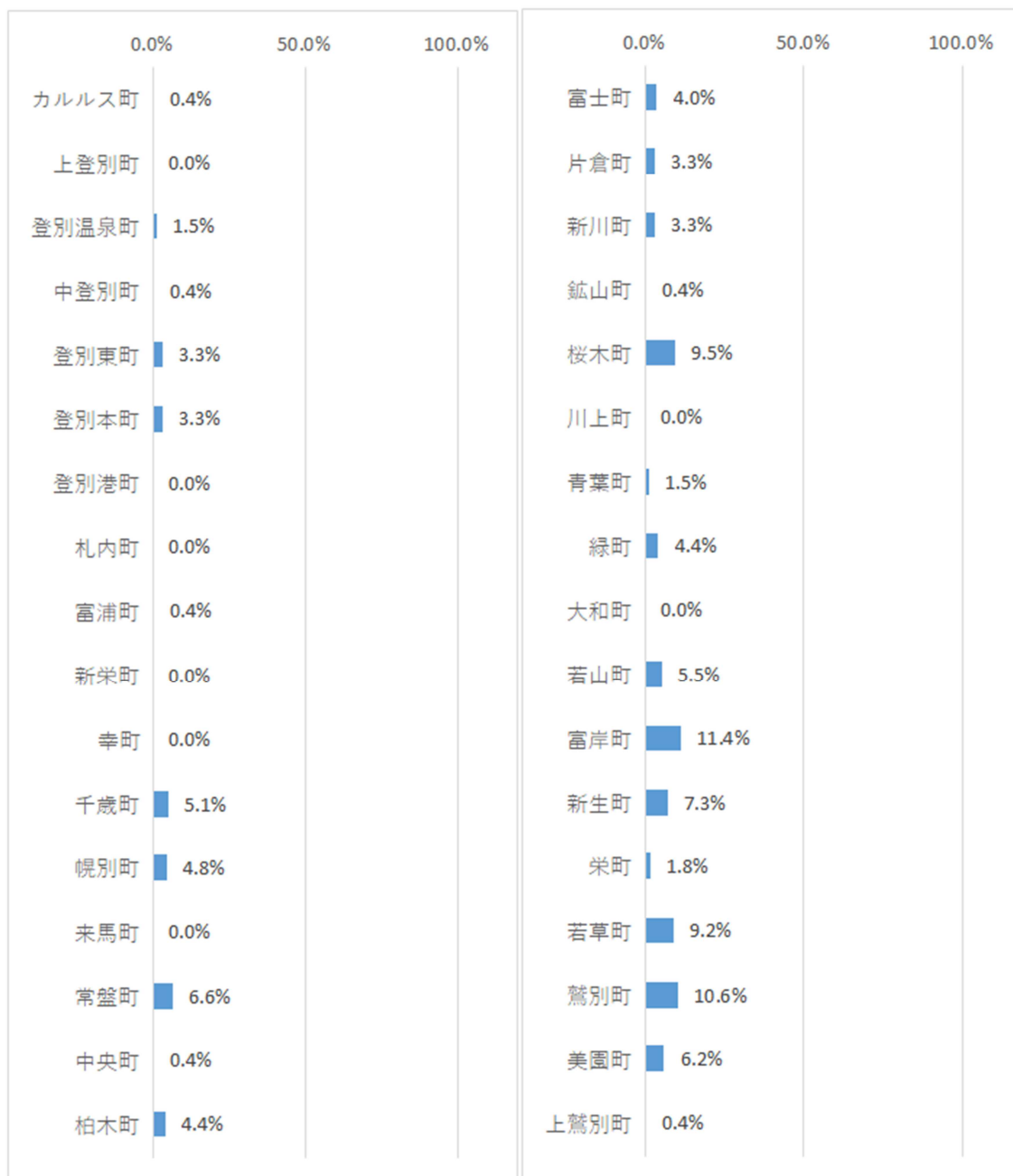
Ⅱ 調査結果

基本事項

お住まいの町名をひとつ選んでください。(問2)

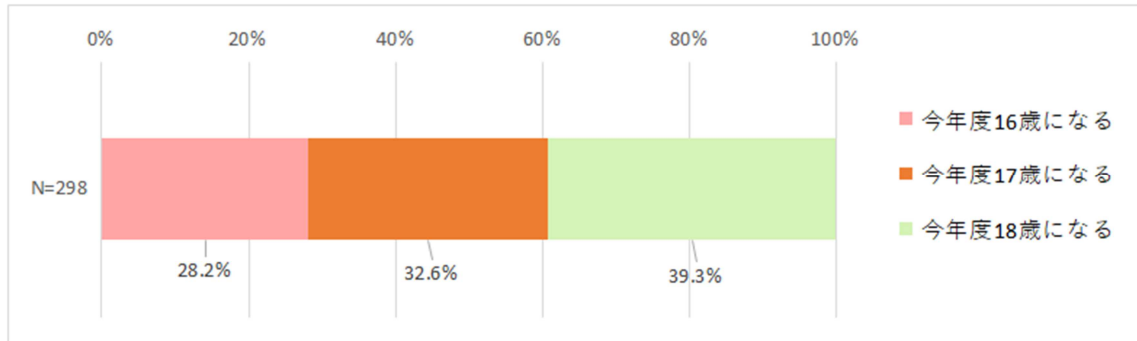
居住地区についてみると、「富岸町」が11.4%と最も高く、次いで「鷺別町」が10.6%、「桜木町」が9.5%となっています。

N=298



あなたの年齢に相当するものを1つ選んでください。(問3)

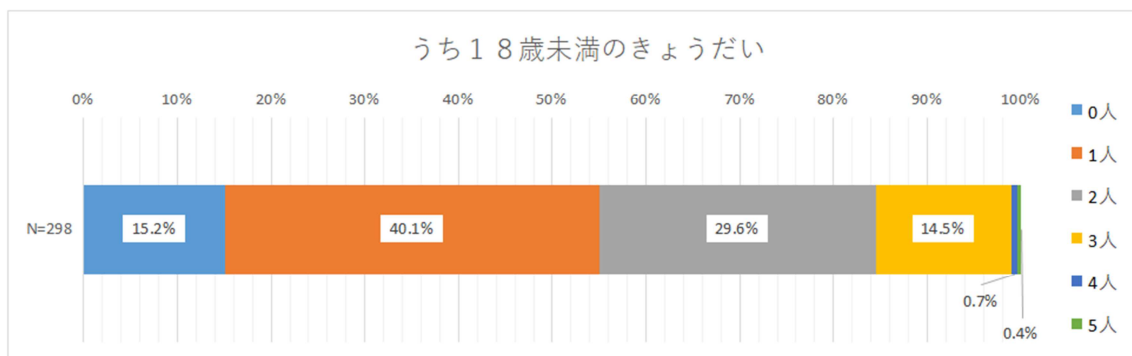
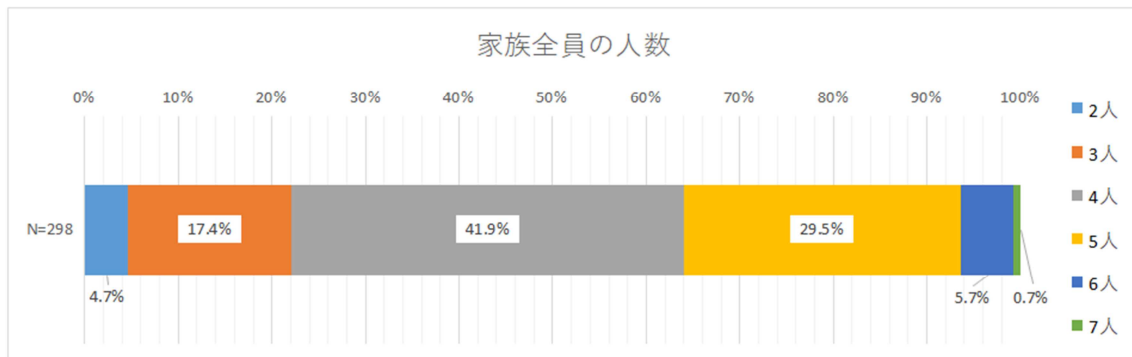
回答者の年齢についてみると、「今年度 18 歳になる」が39.3%で最も多く、次いで「今年度 17 歳になる」が32.6%、「今年度 16 歳」が28.2%となっています。



あなたの家族の人数を入力してください。(問 4)

回答者の家族全員の人数についてみると、「4人」が41.9%と最も高く、次いで「5人」が29.5%、「3人」が17.4%となっています。

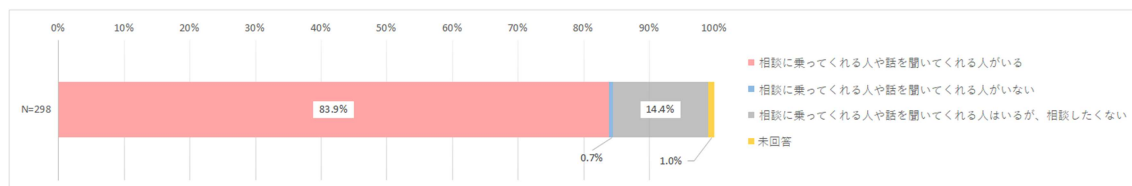
18歳未満のきょうだいの数についてみると、「1人」が40.1%と最も高く、次いで「2人」が29.6%、「0人」が15.2%となっています。



困りごとや悩みの相談について

現在、あなたが持っている困りごとや悩みについて、相談にのってくれたり、話を聞ってくれる人が周囲にいますか。(問5)

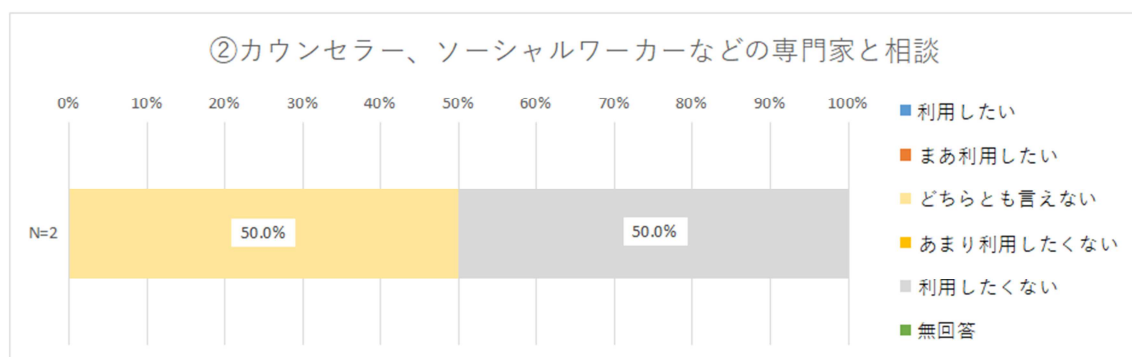
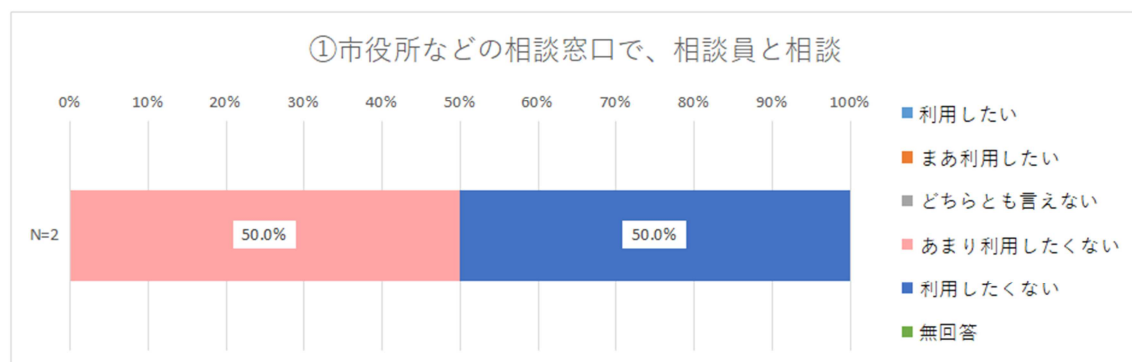
困りごとや悩みごとを相談できる人についてみると、「相談に乗ってくれる人や話を聞いてくれる人が居る」が83.9%と最も高く、次いで「相談に乗ってくれる人や話を聞いてくれる人はいるが、相談したくない」が14.4%と回答しています。



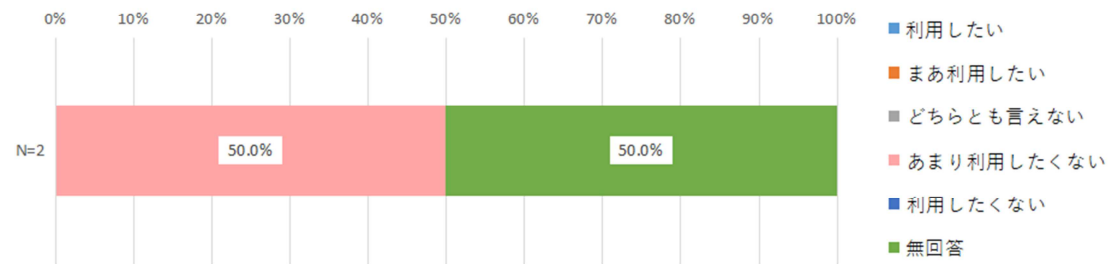
※問5で、「相談する人がいない」を選んだ方にお聞きします。

市では、あなたの困りごとや悩みを相談できる、いろいろな窓口を紹介しています。次のような窓口を紹介した場合、利用したいと思いますか。(問5-1)

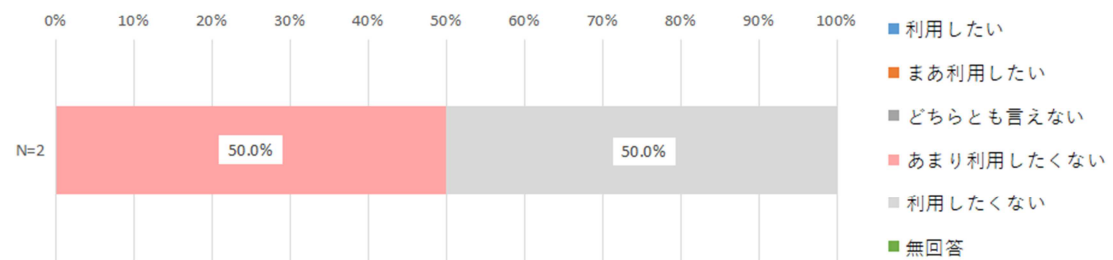
「相談する人がいない」人における各種相談窓口の利用意向については、全体的に「あまり利用したくない」「利用したくない」の割合が高くなる傾向が見られました。



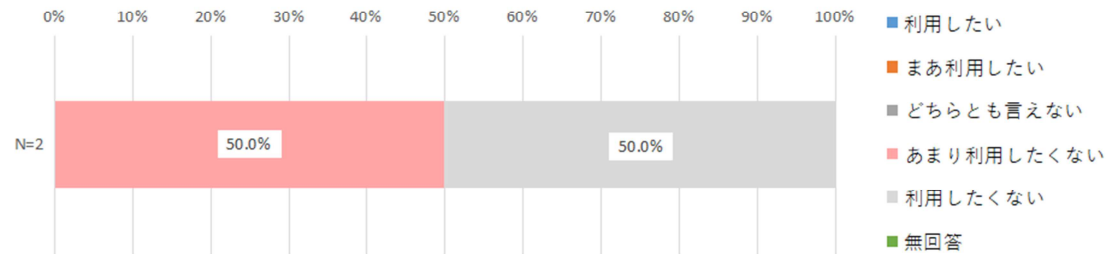
③民生委員、児童委員など、地域の相談役の人と相談



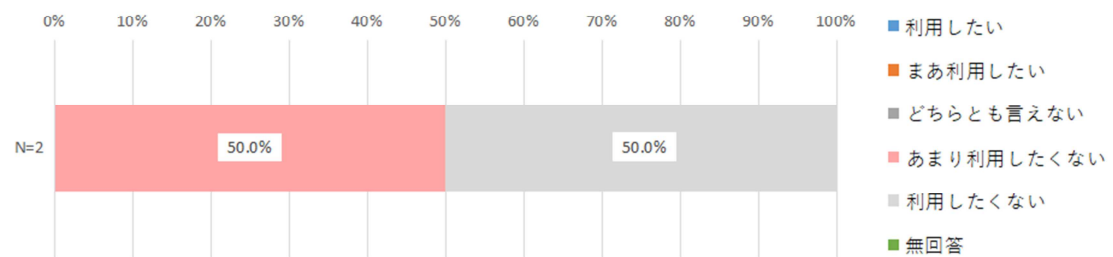
④民間の相談センターの人と相談



⑤こども専用の電話・ネット相談などの相談窓口で相談



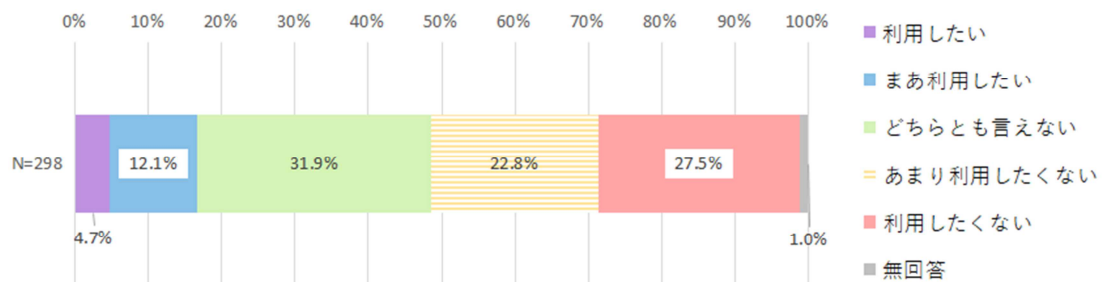
⑥LINEやメッセージなどのSNSを使用した相談



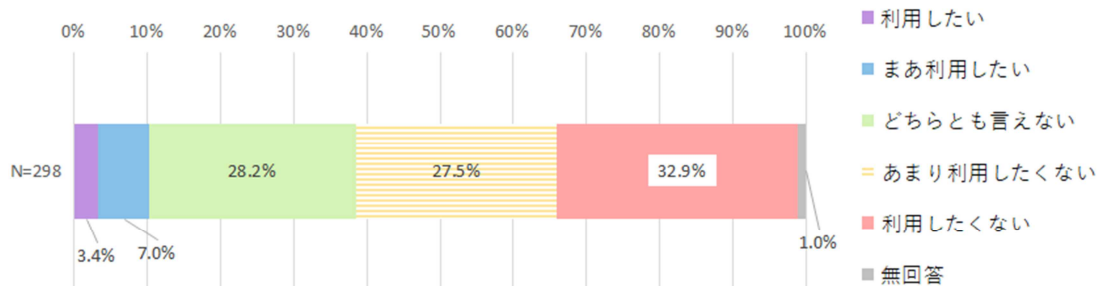
あなたが相談しやすいと思う「相談窓口の形」は、どのようなものですか。（問6）

相談しやすい窓口の形についてみると、「①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談」「②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談」「③相談窓口の担当者との、電話での相談」においては、「どちらとも言えない」「利用したくない」の割合が高くなっていますが、「④相談窓口で開設している、インターネットの相談サイトでのメールによる相談」「⑤相談窓口で開設している、LINE やメッセージなどの SNS を使用した相談」では「まあ利用したい」「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。

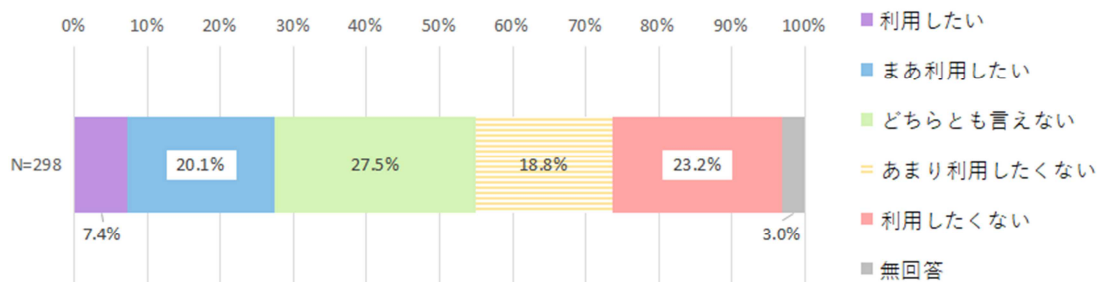
①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談

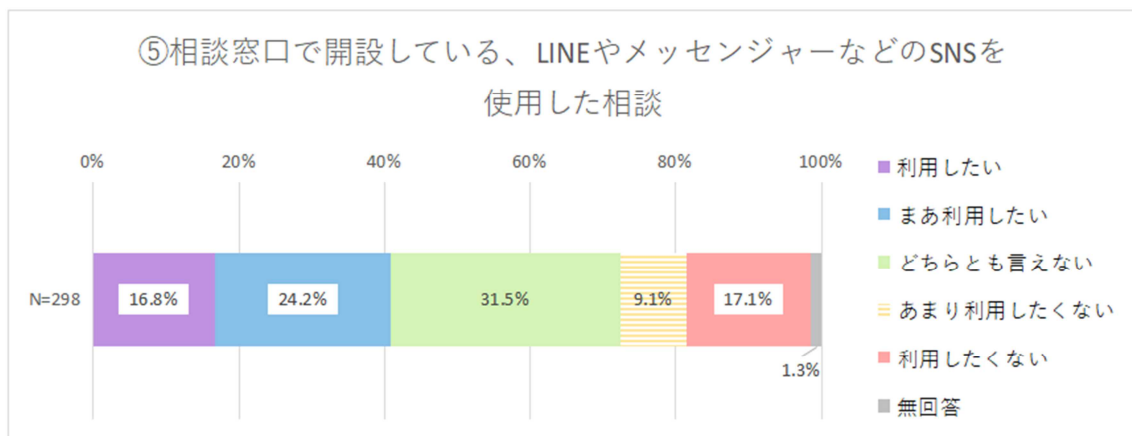
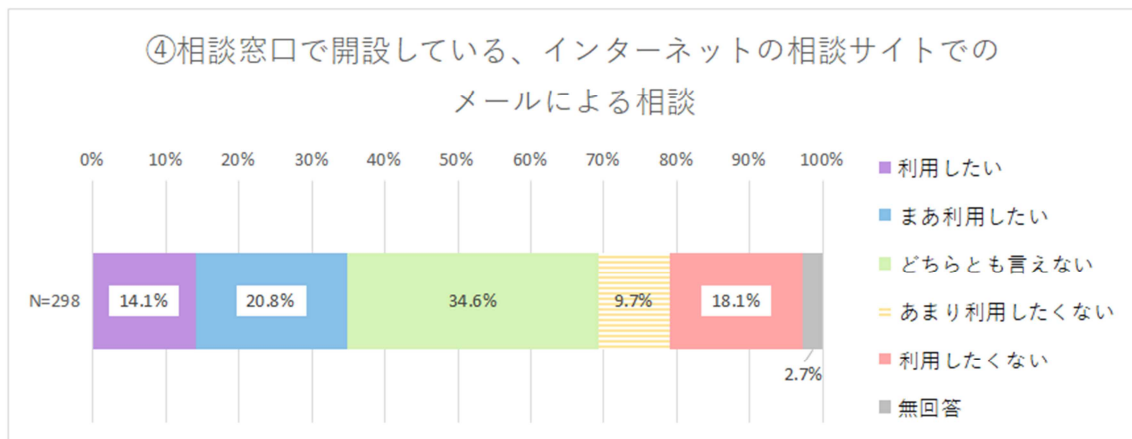


②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談



③相談窓口の担当者との、電話での相談





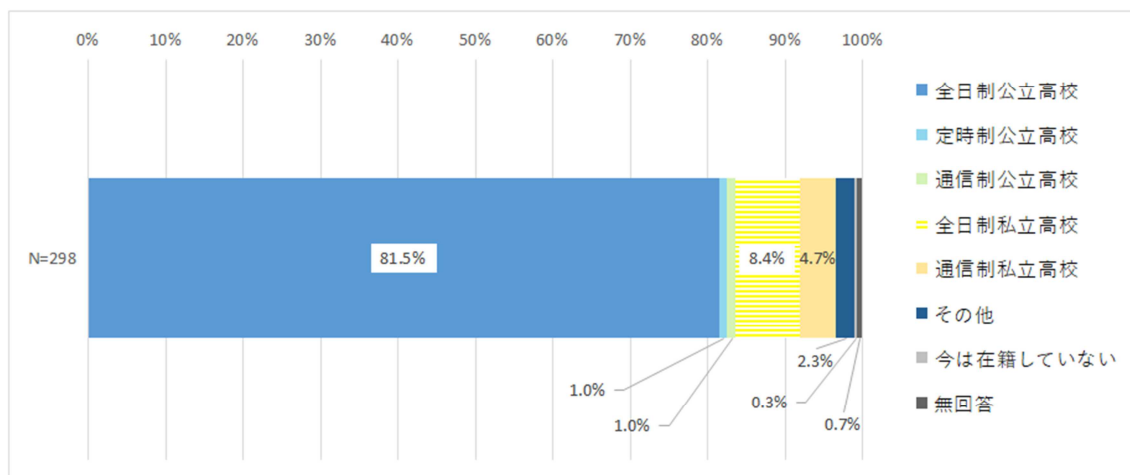
その他の回答(自由記述)

- ・手紙でのやりとり
- ・知らない人と話したくない
- ・対面での相談で最初は仕切りを作ってお互いの顔を見れないようにして慣れたら仕切りを外す

現在の在籍と、将来の進学について

あなたが在籍している学校について、あてはまるものを1つ選んでください。(問7)

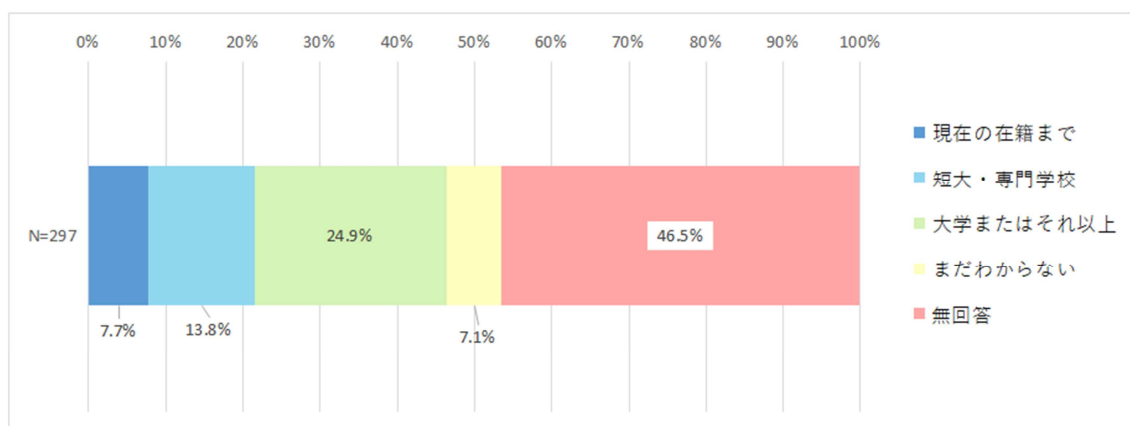
在籍している学校についてみると、「全日制公立高校」が81.5%で最も多く、次いで「全日制私立高校」が8.4%、「通信制私立高校」が4.7%となっています。



※問7で、「今は在籍していない」以外を選んだ方にお聞きします。

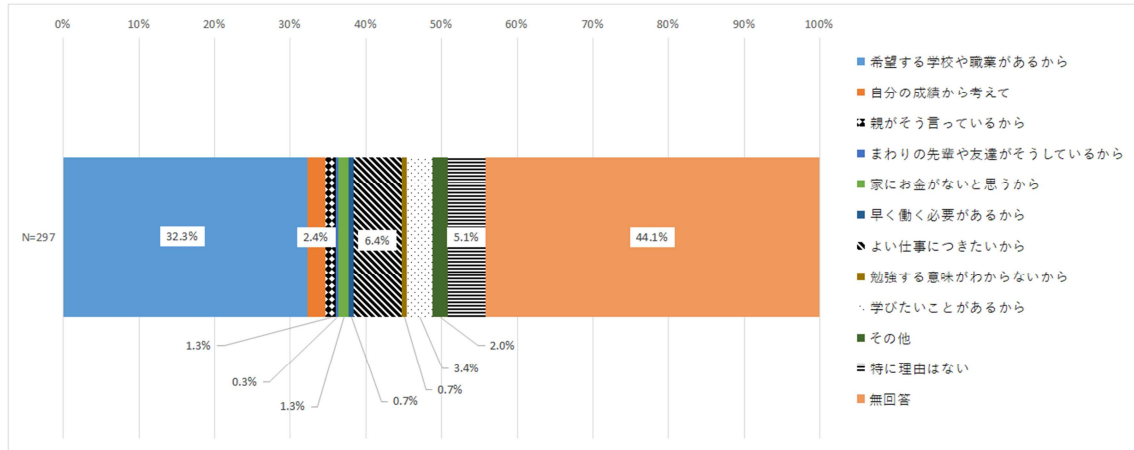
あなたは将来、どの段階まで教育を受けたいですか。(問7-1)

どの段階まで教育を受けたいかについてみると、「大学またはそれ以上」が24.9%と最も高く、次いで「短大・専門学校」が13.8%、「現在の在籍まで」が7.7%となっています。



その理由を教えてください。(問7-2)

教育段階の希望理由としては、「希望する学校や職業があるから」が32.3%と最も高く、次いで、「良い仕事につきたいから」が6.4%、「特に理由はない」が5.1%となっています。



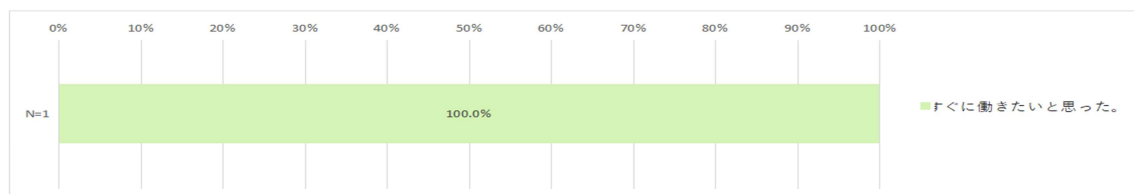
その他の回答(自由記述)

- ・バスケットでプロを目指すから
- ・社会経験を早くしたいから
- ・今は特に学びたい事が無いので大学や専門学校に行くのは時間とお金の無駄だと思うし、それなら就職してからやりたいことや学びたいことがあれば働いて貯めた貯金から学費を出して通えばいいと思うから
- ・まだやりたい事が分からないから
- ・現在、心身に余裕がないため考えることができない。
- ・進路を迷っているから

※問7で、「在籍していない」を選んだ方にお聞きします。

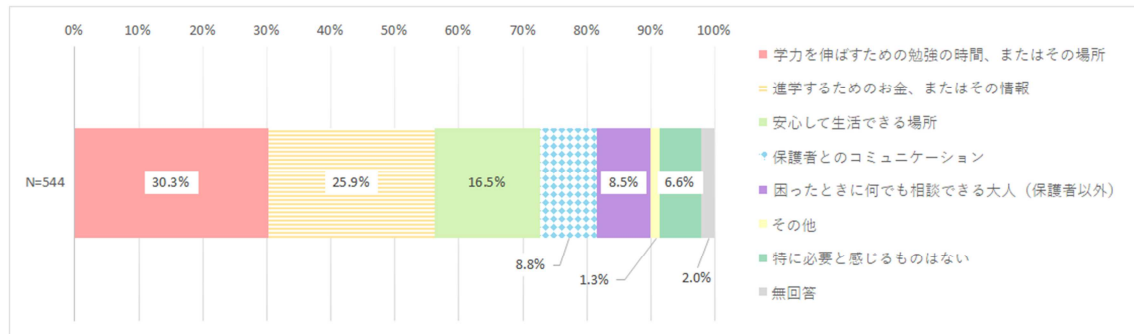
進学を選ばなかった理由について、もっとも近いものを1つ選んでください。(問7-3)

進学を選ばなかった理由については、「すぐに働きたいと思った。」が100%となっています。



あなたが受けたい教育の段階(またはそれ以上の段階)に進むために、必要だ(あったらいいな)と思うことは何ですか。(問8)

希望する教育段階に進むために必要なこととしては、「学力を伸ばすための勉強の時間、またはその場所」が30.3%と最も高く、「進学するためのお金、またはその情報」が25.9%、「安心して生活できる場所」が16.5%となっています。



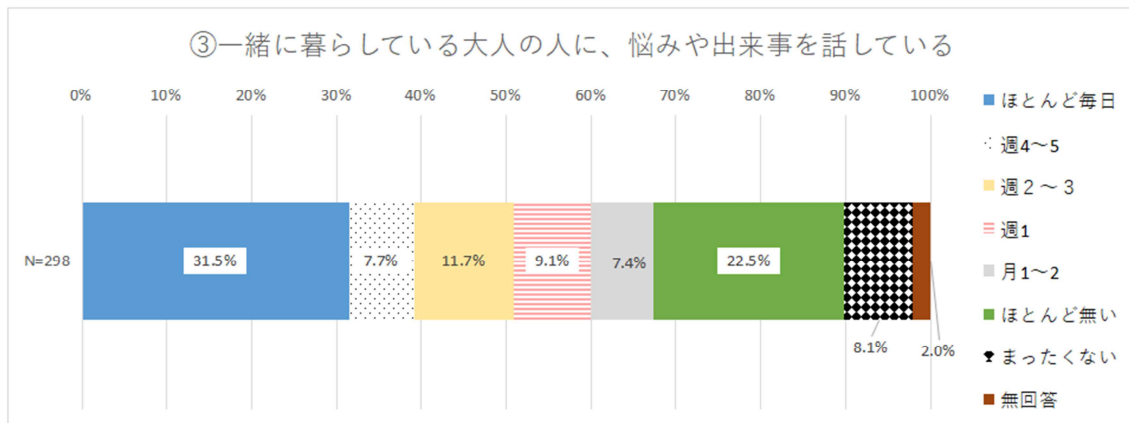
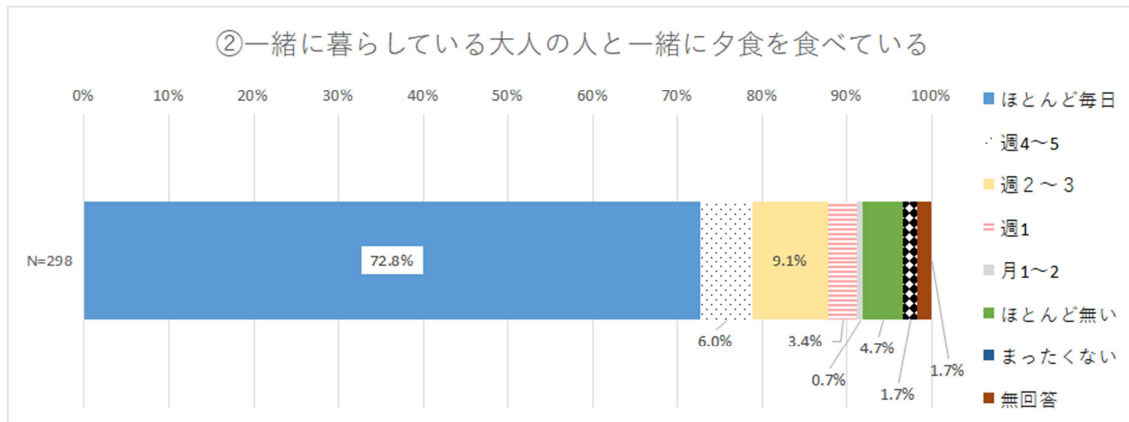
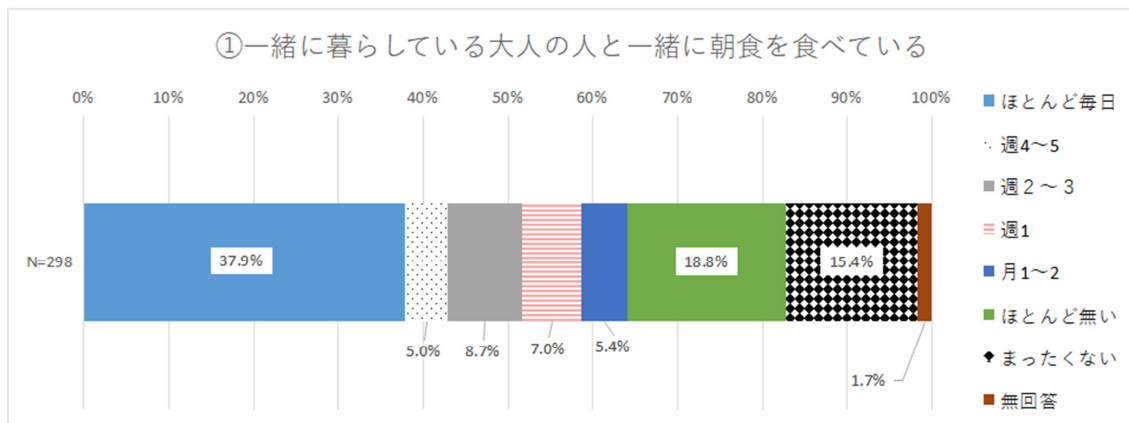
その他の回答(自由記述)

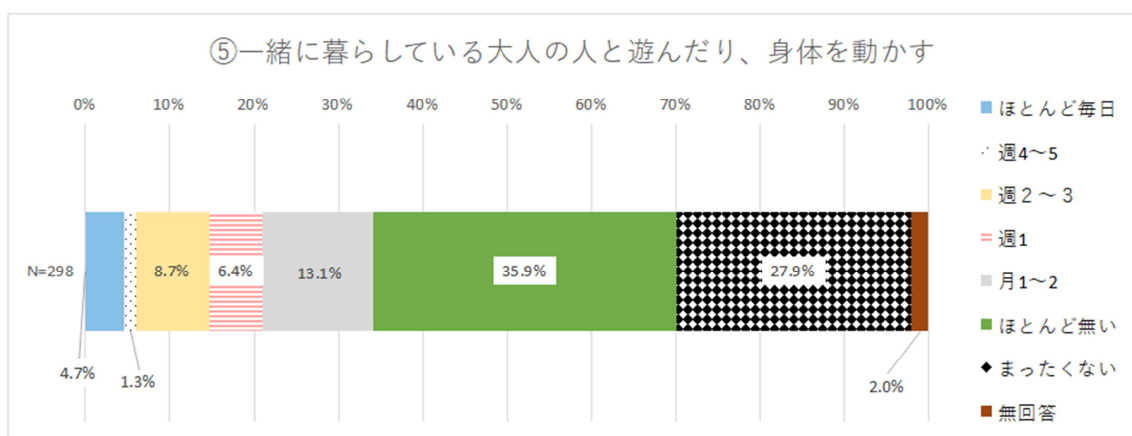
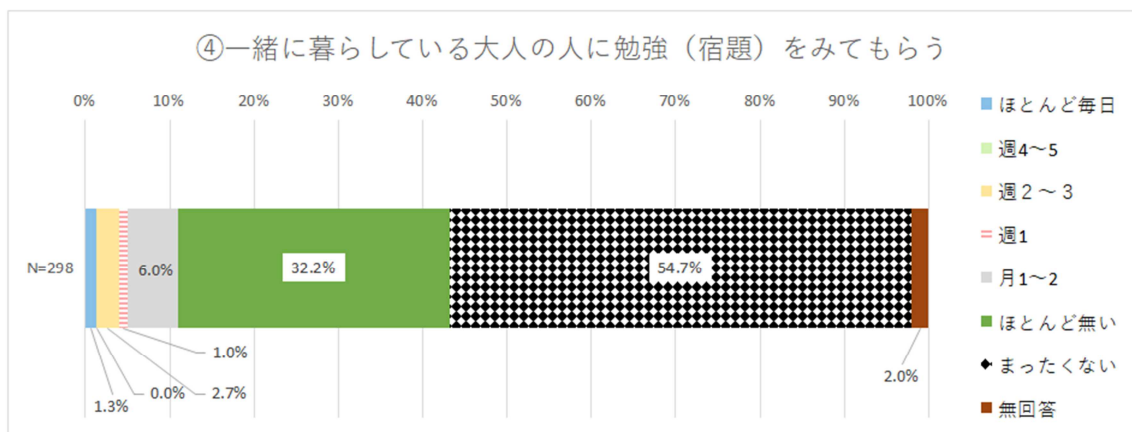
- ・社会人になってから知っておくと得をする情報。(法律や企業の仕組み、機器の効率アップにつながる使い方など)
- ・進学することで社会に出た時にどれだけのメリットやデメリットがあるのかを噛み砕いて説明すること
- ・やる気
- ・体調を崩さない強い心身
- ・学力
- ・部活
- ・国が進学しやすい環境を作してほしい

ふだんの生活について

あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(問9)

一緒に暮らしている大人の人と一緒にすることとしては、「①一緒に暮らしている大人の人と一緒に朝食を食べている」「②一緒に暮らしている大人の人と一緒に夕食を食べている」「③一緒に暮らしている大人の人に、悩みや出来事を話している」において「ほとんど毎日」と回答した割合が3割を超え最も多い回答となっていますが、「④一緒に暮らしている大人の人に勉強(宿題)をみてもらう」は「まったくない」が54.7%、「⑤一緒に暮らしている大人の人と遊んだり、身体を動かす」は「ほとんど無い」が35.9%と最も多い回答となっています。

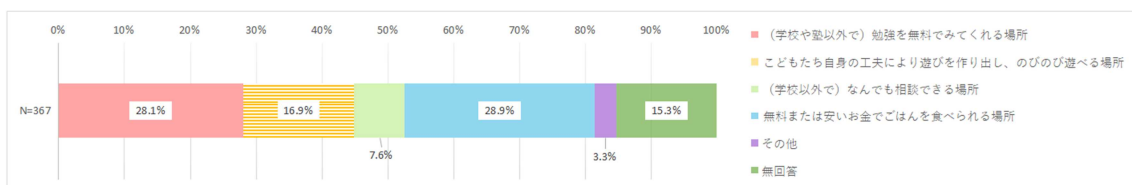




※問9で、どれか1つでも「週に1回程度」「月に1～2回」「ほとんど無い」「まったく無い」を選んだ方にお聞きします。

あなたが「利用してみたい」と思う、以下の場所について、あてはまるものを全て選んでください。(問9-1)

利用したい場所について、「無料または安いお金でごはんを食べられる場所」が28.9%と最も高く、次いで「(学校や塾以外で)勉強を無料でみてくれる場所」が28.1%、「こどもたち自身の工夫により遊びを作り出し、のびのび遊べる場所」が16.9%となっています。



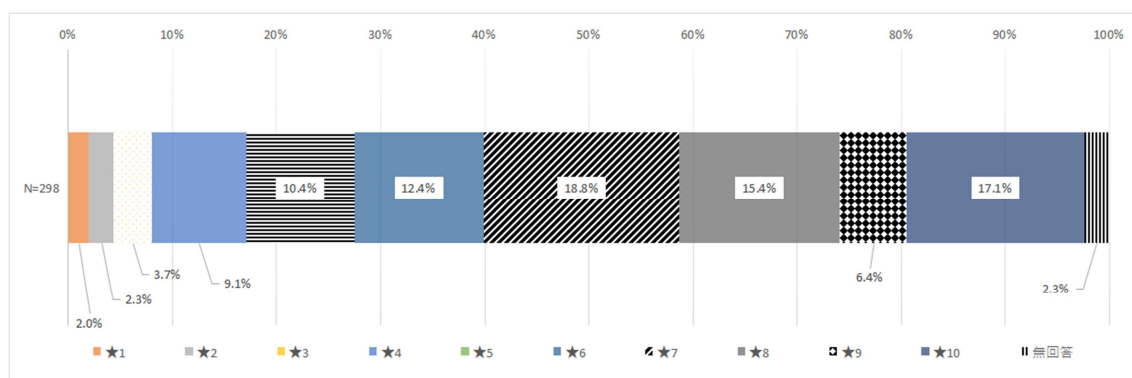
その他の回答(自由記述)

・学生(小、中、高など)が気軽に集まったり、体験会や教室、イベントなどを開けたりするような施設

- ・自習室のついた図書館
- ・静かでゆっくりと勉強できる施設
- ・スポーツを楽しめる施設(ボールの使用ができる公園など)

全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(問10)

全体的な生活の満足度については、「★10」が18.8%で最も高いほか、「★6」以上を回答した人が全体の70.1%と、高い割合となっています。

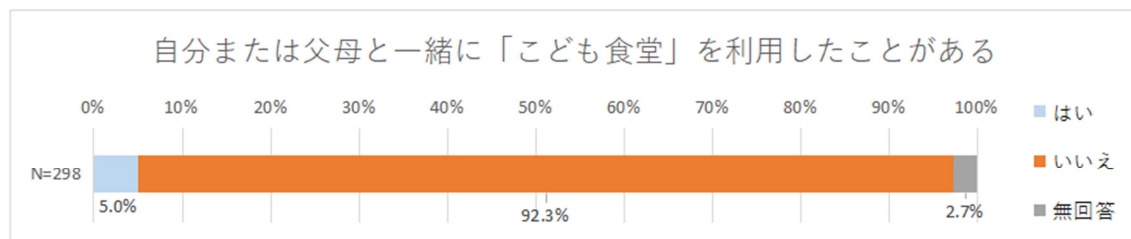
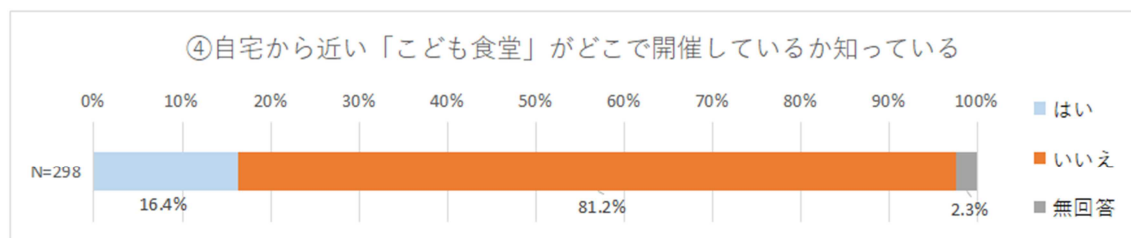
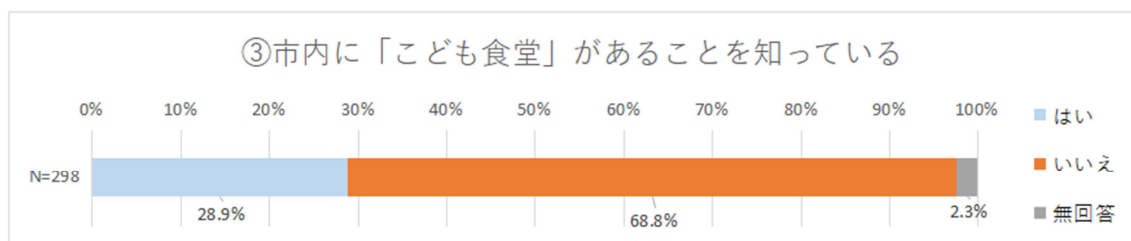
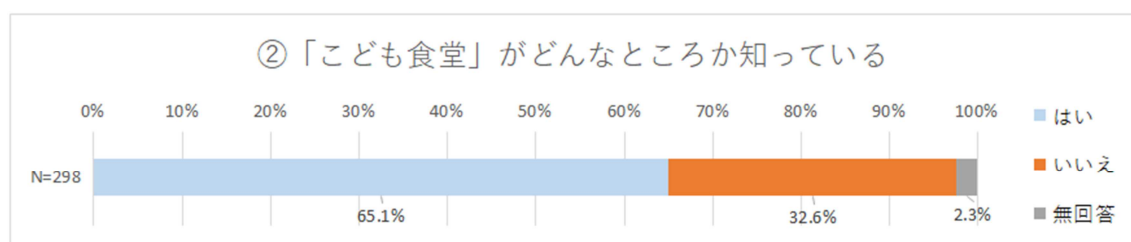
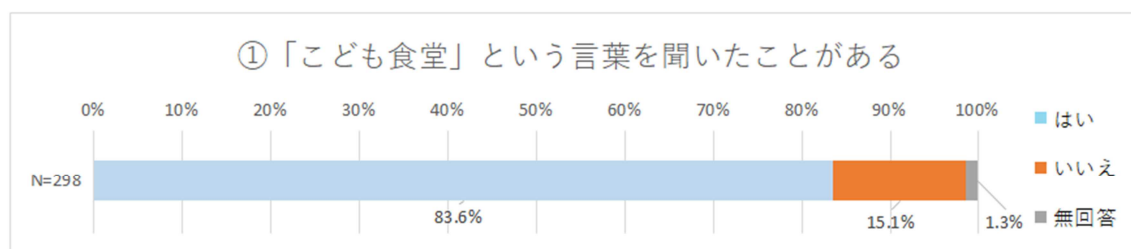


こどもの居場所について

こども食堂に関することについて(問 11)

こども食堂に関することについてみると、「①「こども食堂」という言葉を聞いたことがある。」
「②「こども食堂」がどんなところか知っている。」では6割以上が「はい」を回答しており、こども
たちにも認知されていることが分かります。

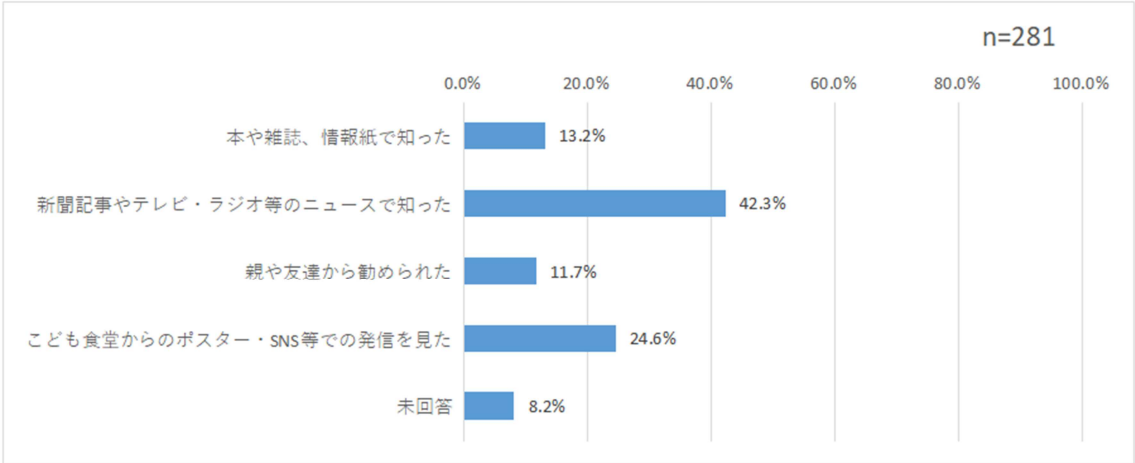
市内のこども食堂や、利用経験を問う③～⑤の設問では「いいえ」が6割以上を占めていま
す。



※問 11 で、どれか一つでも「1：はい」と回答した方にお聞きします。

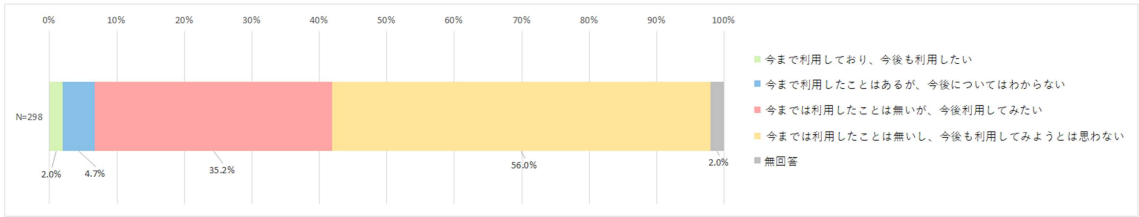
「こども食堂」の情報を、どのような手段で知ることができましたか。(問 11-1)

こども食堂を知る手段としては、「新聞記事やテレビ・ラジオ等のニュースで知った」が 42.3%と最も高く、次いで「こども食堂からのポスター・SNS 等での発信を見た」が24.6%となっています。



今後、自宅近く等の利用しやすい場所で「こども食堂」ができた場合、利用したいと思いますか。(問12)

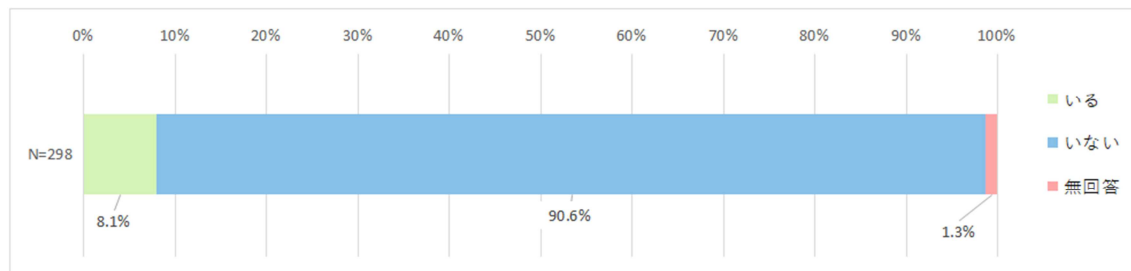
「今までは利用したことはない」回答が全体の91.3%となっている一方、「今後も利用したい」との回答が35.2%となっており、「今まで利用しており、今後も利用したい」を含めた37.2%が今後の利用について前向きに考えて居ることが分かります。



家族のお世話について

家族の中に高齢や病気、身体が不自由、幼い等の理由により、お世話が必要な人はいますか。(問 13)

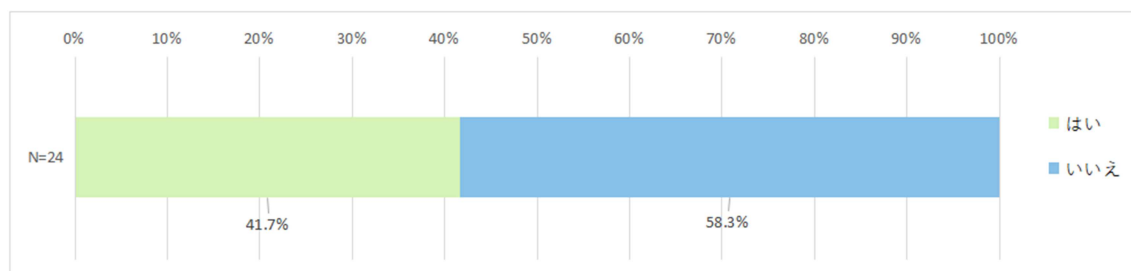
家族のお世話については、90.6%が「お世話が必要な人はいない」と回答しています。



※問 13 で「いる」と回答した方にお聞きします。

お世話の一部もしくは全部について、あなた自身がお世話をすることはありますか。(問 13-1)

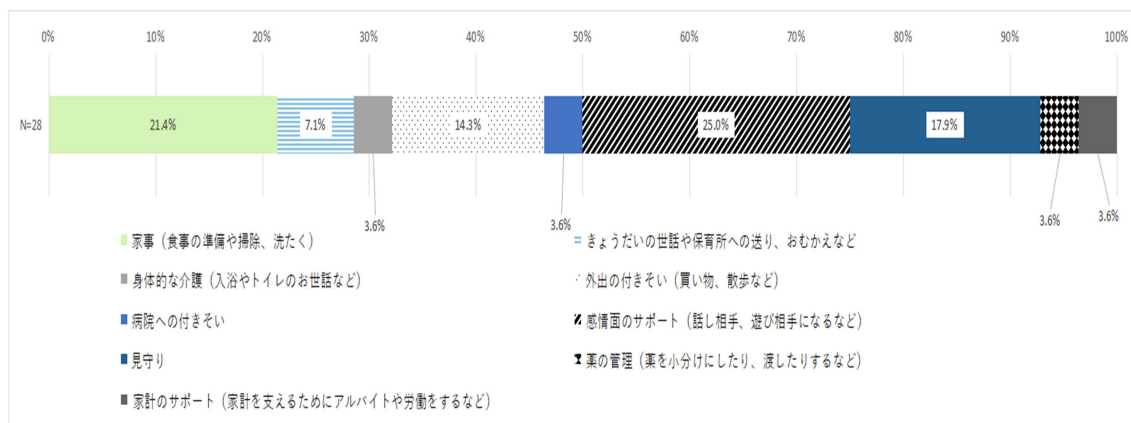
家族のお世話を回答者が世話をすることがあるかについて、「自身で世話をすることはない」が58.3%、「自身で世話をすることがある」が41.7%となっています。



※問 13-1 で「はい」と回答をした方にお聞きします。

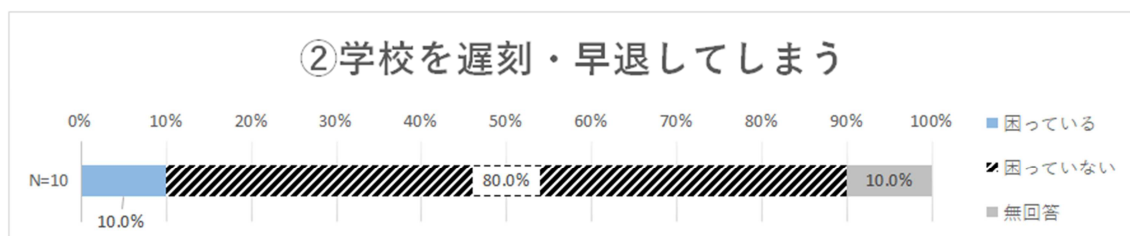
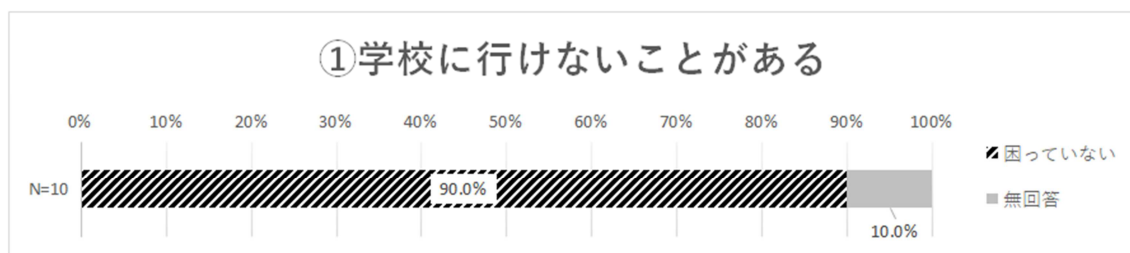
あなたがしているお世話の内容について(問 13-1-1)

お世話の内容については、「感情面のサポート(話し相手、遊び相手になるなど)」が 25.0%で最も多く、次いで「家事(食事の準備や掃除、洗たく)」が21.4%、「見守り」が 17.9%となっています。

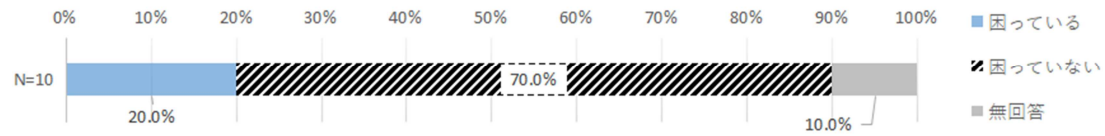


前問のことをすることで、あなたが困っていること、解決して欲しいことはありますか。(問 13-1-2)

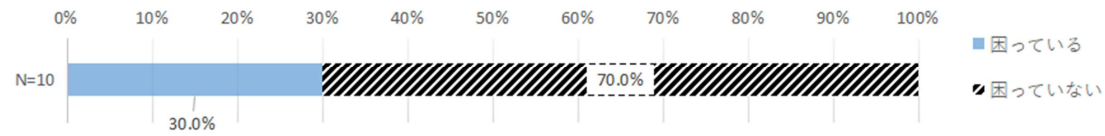
家族のお世話をすることでの困りごとについては、概ね「困っていない」の回答が多い傾向となっていますが、「①学校に行けないことがある」以外の選択肢では、「困っている」と回答した子が、一定数いることが分かります。



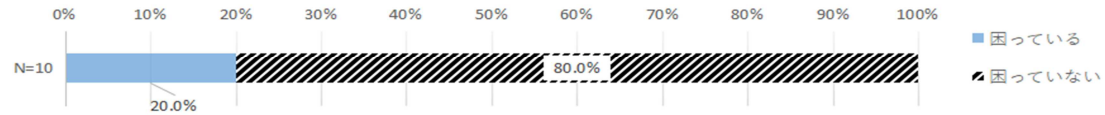
③勉強する時間が取れない



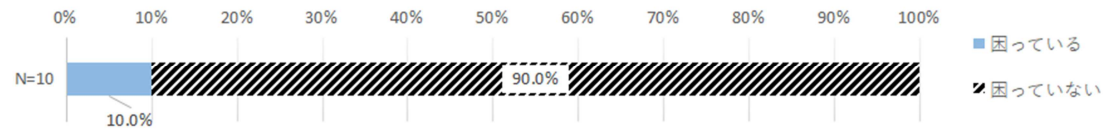
④十分に寝ることができない



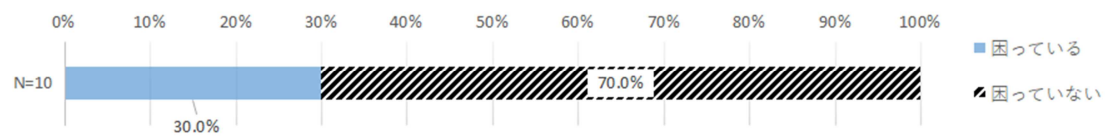
⑤友人と遊べないことがある



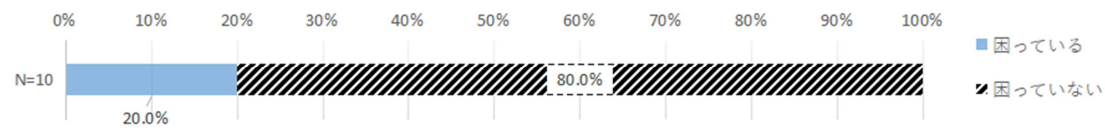
⑥部活や習い事が思うようにできない



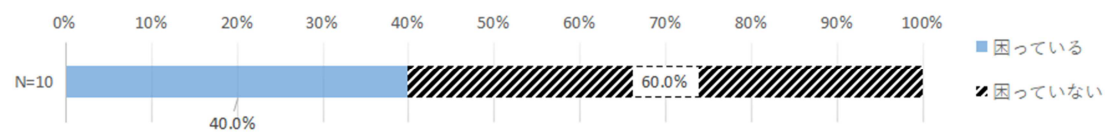
⑦自分の自由になる時間が取れない



⑧自分が自由に過ごせる場所がない



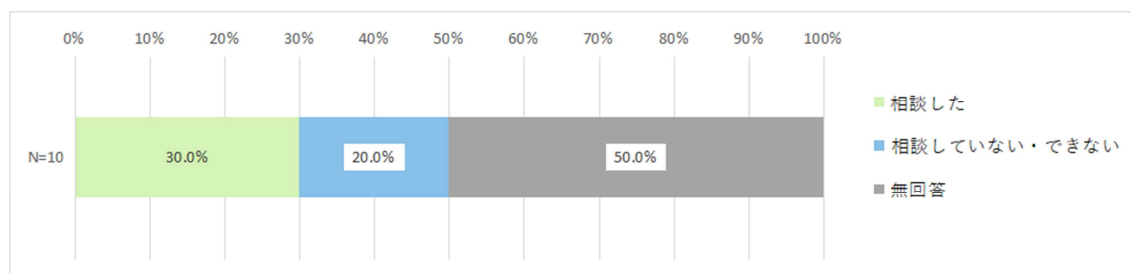
⑨学校のことをどうでもいいと思うことがある



※問 13-1-2 で「困っている」を 1 つでも選んだ方にお聞きします。

困っていることを、周囲の大人に相談しましたか。(問 13-1-2-1)

困っていることを周囲の大人に相談したかについては、「相談した」が30%で最も高く、「相談していない・できない」が20%となっています。



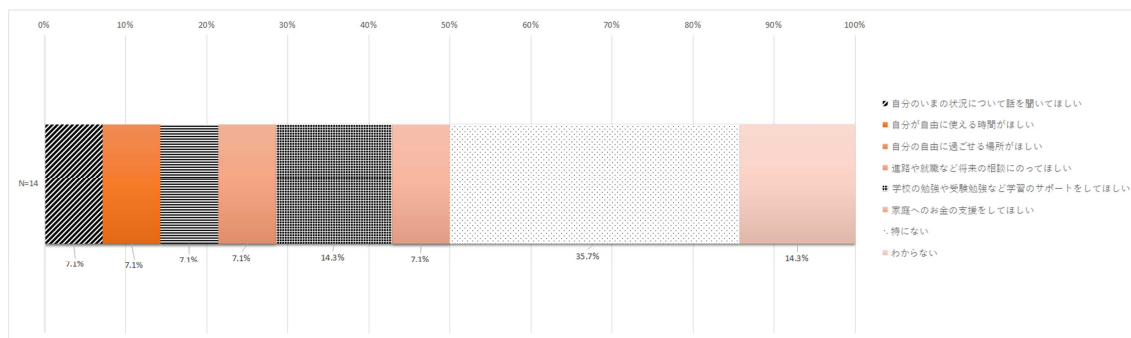
※問 13-1-2-1 で「相談していない・できない」を選んだ方にお聞きします。

あなたの気持ちが「相談してみようかな」となるためには、どのようなことが必要ですか。(問 13-1-2-2)

「相談していない・できない」を選択された2名の方は無回答でした。

あなたは、お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいこと(助けてほしいこと)はありますか。(問 13-1-3)

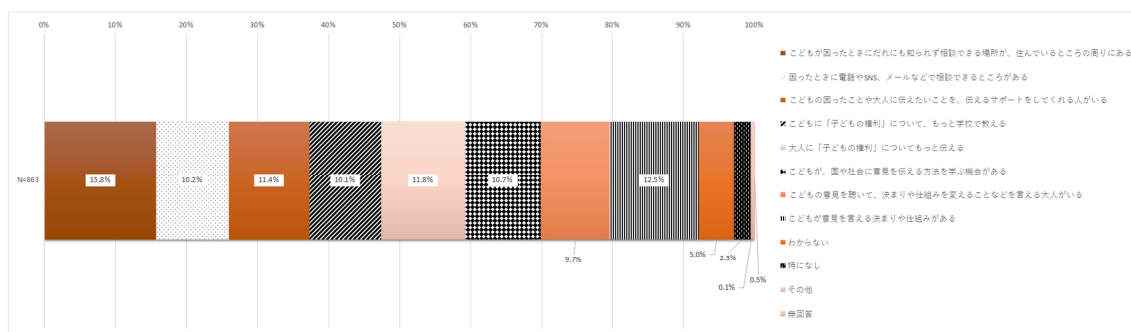
お世話に関して周囲の大人に助けて欲しいこととしては、「特にない」が35.7%と最も多いですが、次いで「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」が14.3%、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「自分が自由に使える時間がほしい」「自分の自由に過ごせる場所がほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」「家庭へのお金の支援をしてほしい」が同率の7.1%等、一定のニーズがあることが分かります。



「子どもの権利」について

あなたは、「子どもの権利」を守るために、どんな仕組みがあるとよいと思いますか。
(問14)

「子どもの権利」を守るための仕組みについては、「こどもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が、住んでいるところの周りにある」が15.8%で最も多く、次いで「こどもが意見を言える決まりや仕組みがある」が12.5%、「大人に「子どもの権利」についてもっと伝える」が11.8%となっています。

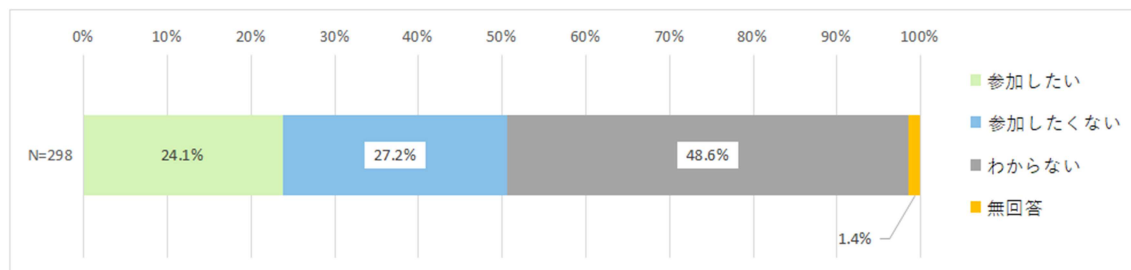


その他の回答(自由記述)

・まず、子供よりも先に大人が「子どもの権利」について深く理解する機会を作りそれを社会全体に定着させるイベントを実施し、子供に「子どもの権利」があるということを長い時間をかけて定着させていく機会やイベントなどがあるといいと思う。

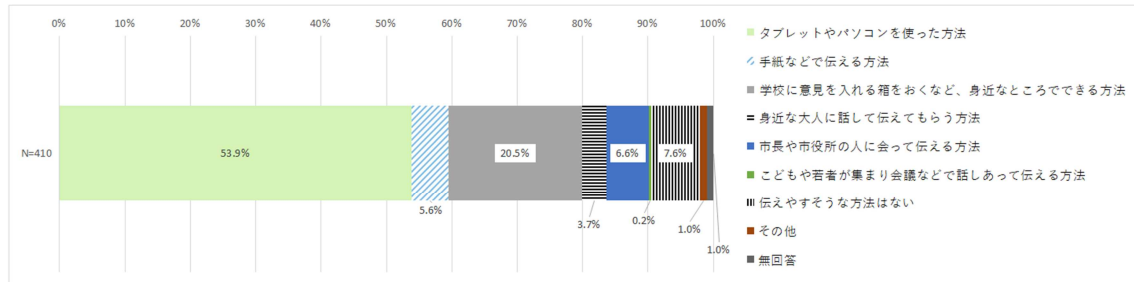
市では、あなたが市へ意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会を増やしたいと考えています。今後、そのような機会があれば、参加したいと思いますか。(問15)

市へ意見を伝え、実現に向けて一緒に取り組み機会への参加については、「参加したくない」が27.2%で最も多く、次いで「参加したい」が24.1%となっています。



どんな方法や手段があれば、あなたは市に意見を伝えやすいですか。(問16)

市へ意見を伝える手段については、「タブレットやパソコンを使った方法」が53.9%で最も多く、次いで「学校に意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法」が20.5%、「伝えやすそうな方法はない」が7.6%となっています。



その他の回答(自由記述)

- ・一対一で話す
- ・匿名意見箱
- ・会場設置

これから先、こどもや若者にとって「こんな市になったらいいな」、「こんな街にしたいな」「市にこんな場所があったらいいな」など、市に求めることや期待することについて、あなたの意見や願いがあれば、自由に入力してください。(問17)

市に求めることや期待することについて、106人からご意見が寄せられました。

【行政に求めること】

- ・子どもの権利を守るために大人に相談することが正しいみたいな書き方をしてるけど、逆に教育現場でそれが意味ないと実感する経験がある私からすると市のあり方より、教育現場に目を向けてあげてほしいです。
- ・高齢者だけでなく、子供にもっと目を向けてほしい
- ・若い人と高齢者達の交流がもう少し増えて、色々な理解が増えればいいと思った。
- ・今後どうしていくのか、たらい回しにせず、子供だけに問わず、一緒になって親身に考えてくれる場所あれば良いのかなって思います。
- ・少子化対策や移住者を呼び込んで市内の人口(特に子ども)が増え、市内の活動が盛んになるとより良い。人手不足や高齢化で子どもが楽しめるイベントの絶対数が減ってしまうのは遺憾である。
- ・子供に寄り添ってくれる優しい大人が沢山いる街になって欲しい。(虐待などをしている大人がいたらすぐに駆けつける窓口などを設けるなど)
- ・相談できる環境があっても、「相手にどう思われてしまうか分からない」等の不安から相談することを断念してしまう人も中にはいると思うから、難しいことだけれど、もっと気軽に相談できる雰囲気ができたらいいと思います。
- ・子供にもっと目を向けてほしい。非行に走ったり自分をあまり大切にしていない学生は見えないだけであることをわかってほしい。そう見えなくても、大人の力を必要としている人がいる。家族以外でも大人と子供が関われる機会をもっと設けてほしい。大人が学校全体に向けて講話するのではなく、一対一で大人となんでも話せる機会。子供が自ら働きかけるような相談窓口(電話相談など)に相談できる子どもは限られていると思う。実際私自身も利用しようと思ったことはない。それで相談できていたら苦労していないしみんな悩んでいない。自分が助けを必要としていることに気づいていない子供だっている。ただ定期的に小さなカードを配って電話相談が来るのを待つのではなく、もっと違った形で私たちに目を向けてほしい。
- ・子供や、若者の気を引く様なイベントなど、積極的に開催するべきだと思います
- ・道など交通に関する点ではアスファルトなどに穴やヒビが入ってなく、子供が安全に通学出来るように整備されていて、公共交通機関の本数がもう少し増えると嬉しい。

【教育・学習支援について】

- ・勉強していいスペースが17時にしまっしまい、放課後利用できないので遅くまで空いている

勉強スペースを作って欲しいです。勉強する場所は、主に幌別の図書館、アーニスの中の図書館となっているが、東室蘭の方にはきらんといい、9:00~22:00 まで勉強出来るのに対し、席も少なければ、時間も少なく、思う存分に勉強ができる環境がないため、登別、また学生がよく使う幌別に、きらんみたいな施設を作るべきであると思う。

- ・ボランティア活動を行う機会を増やしてほしい。(社会貢献になったり、社会勉強につながる)
- ・フリースクールのような様々な場所があったらいいと思う
- ・進学や在学中に市からの助成金や、学生の生活を支援するような制度があればいいと思います。日本各地の小さな都市でもできていることなのであなた方が本気出せばできると思います。
- ・義務教育の学校を中心に、夏場の熱中症対策に「普通」のエアコンを各教室につけること。…現在、ついている学校もあるが、保健室等ようなエアコンではなく、授業中に使用していると授業に支障がでしてしまうようなエアコン・使っているとうるさく、熱くなるため、窓を開けたほうが涼しいというエアコンがついている意味がないものがあるので、急いで使えないエアコンを設置するよりも長く使える保健室等のようなエアコンを設置して欲しい。
- ・スクールバスを出した方が良い高校や大学を作してほしい
- ・通学で利用するバスの本数が増えたらなと思います

【居場所について】

- ・遊べる場所があったらいいな。
- ・球技ができるような広いスペースまたは公園がほしい
- ・レストランや認知度の高い大きい店が欲しい

【登別の魅力を増やすことについて】

・登別市には地獄谷や温泉、鬼花火や地獄祭りなどといった魅力的なイベントや場所があるのにも関わらず若者がイベントに参加しようとすると、未成年だからと大半はそれらに関わることができない。それはすごく勿体ないと個人的には思っていて、登別市ならではの魅力をせっかく若い世代に知ってもらう機会なのにそれを制限してしまうのはこの先変えた方が良くと思います。例えば、地元の高中生以上で鬼花火や地獄祭りのお手伝いをする会を作り人を募集したり、登別で頑張っている若者を探してイベントで宣伝する機会を作ったりするともっと若い世代の人達が活躍できるより良い登別になっていくと思います。そのためには夜までかかるイベントの手伝いを未成年にさせたりと色々厳しい条件はあると思いますが、送迎バスを出すなど何かしら対策をとる事で実現に近づければと思います。

・温泉街をもっとよくして、外国の方などを呼び寄せれば良いと思う。そうすると登別の発展にも繋がるし、全国温泉ランキングでも 3 位以上に入れると思う。

・賑わいを取り戻すような街にしたい

・どんどん登別から都会に行ってしまう人が増えていると思うから、そうならないように、なにか街に引き寄せるような、そして登別らしいもの(新鮮な野菜であったり、自然や、ボランティア活動、

登別市の今頑張っていることや取り組みを載せる記事、、など)をどんどん広めて、登別を好きになってもらえる町になって欲しい！！

- ・魅力的な働く場所。就職や進学でここに残りたい人は少ない
- ・田舎でもいかなりの魅力を発信できるものがある欲しい。
- ・登別の自然を大切に、愛される町になって欲しい。
- ・もっと観光地で知られる街になって、たくさんの人が来るような、盛んな街にしたい。
- ・室蘭市の様に道の駅があり、子供でも安心して水遊びするところがあればいいなと思います。何故登別温泉で有名なところなのに道の駅がないのかも不思議です。隣接する高校に通ってるけど、登別のPRは登別温泉しかない。登別市民が市内からバスにのって温泉街に行こうとは思わない。観光地だからこそ道の駅があり、市民も気軽に利用しやすい所であってほしいと思う。
- ・お店などの面では、現在の登別市には空き家や廃校があるので取り壊し、新しいカフェなど若者が利用しそうな施設を増やすと良いと思う。また、取り壊すことが不可能な場合は、学校をカフェやホテルにしているとところがあるように、リノベーションすると市の魅力が上がると思う。

【その他】

- ・動物に触れ合える場所
- ・経済的に豊かな街で、周りに対して気を配れて、公共施設が充実している街
- ・交通機関が充実していること
- ・学生が手軽に食べれるお店があれば嬉しいです。(ケンタッキー、ミスドなど)
- ・少しでもポイ捨てが無くなり、ゴミのないようにして欲しい。タバコの煙のせいで受動喫煙になったり、苦しく感じたりするので、喫煙所を完備してほしい。
- ・小中学校がなくなっていくのがこれ以上増えなければいいなと思う。また、全国的にも有名な市として道の駅はやはり欲しいなと思う。
- ・税金が少なくなって親たちが、困らないような市
- ・なにか目指してるものがある人への支援や斡旋
- ・ボランティア活動を積極的に行い、街の道路の清掃や雑草の除草をみんなで行いたい。
- ・子育ての助成金を増やす、塾やスポーツの遠征費の協力金
- ・学費免除もしくは市が一部負担
- ・高校生が作成したポスターを頼んだら貼ってもらえるようにしたい
- ・幌別駅にコンビニを入れて欲しい。
- ・安心安全な街にしたい